

令和 3 年 度

# 若手教員研修

( 2 年 目 研 修 )

## 研修の手引き

福井県教育委員会

| 勤務校 | 職名 |
|-----|----|
| 氏名  |    |

## 目 次

|   |                     |    |
|---|---------------------|----|
| 1 | 実施要項                | 1  |
| 2 | 授業実践研究              | 3  |
| 3 | 4 拠点ハイブリッド型研修       | 4  |
| 4 | 教科別研修Ⅱおよび特別支援教育研修   | 4  |
| 5 | ボランティア活動            | 4  |
| 6 | 提出書類等               | 5  |
|   | 共通様式1【欠席届】          | 6  |
|   | 共通様式2【一部延期願】        | 6  |
|   | 共通様式3【改姓届】          | 7  |
|   | 様式1【授業実践研究の概要】      | 8  |
|   | 様式2【授業実践研究の（中間）まとめ】 | 8  |
|   | 様式3【ボランティア活動計画書】    | 9  |
| 7 | 研修についての問合せ先         | 9  |
| ● | 2年目研修提出物等一覧         | 10 |
| ● | 福井県教員育成指標           | 11 |

# 1 実施要項

## 1 目的

主体的・対話的で深い学びを実践するための指導力の向上を図るとともに、多様なものの見方や考え方を身につける。

## 2 実施主体

福井県教育委員会

## 3 実施期間

実施期間は令和3年度の1年間とする。

## 4 対象者

- (1) 令和2年度に採用された小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の教員で、初任者研修を受講した者とする。ただし、養護教諭および栄養教諭は除く。
- (2) 当該年度に長期の休暇（休業）を取得することがすでに明らかな場合は、原則として休暇（休業）明けに受講すること。なお、受講年度途中で長期の休暇（休業）を取得することになった場合は、受講可能な研修を受講し、残りは休暇（休業）明けに受講することとする。いずれの場合も、休暇（休業）からの復帰時期によっては、翌年度の受講となる。

## 5 研修の手引きについて

2年目研修の手引きは教育総合研究所 HP 各種様式から各自がダウンロードする。

## 6 実施計画

### 【小学校】

| コード  | 育成指標分類         | 研修名（研修内容）                                   | 実施日時・会場   |  | 備考         |
|------|----------------|---|---|--|------------|
|      | ***            | 研修ガイダンス                                     |   |  |            |
| 211  | 学習指導           | 授業実践研究Ⅲ<br>（授業実践研究の意義）                      | <嶺北><br>5月11日(火)<br>9:30～16:00<br>教育総合研究所   | <嶺南><br>5月11日(火)<br>9:30～16:00<br>嶺南教育事務所  |            |
| 221  | 生徒指導<br>マネジメント | 学級運営①<br>・事前に、通信型研修 G212<br>「学級づくりシリーズⅡ」を視聴 |   |  |            |
| 254  | 学習指導           | ICT タブレット活用                                 | 6月7日(月)<br>13:30～16:30<br>4拠点ハイブリッド型  |  | p. 4<br>参照 |
| 213  | 学習指導           | 教科別研修Ⅱ                                      | 各自選択・申込   |  | p. 4<br>参照 |
| G111 | 学習指導           | 通信型研修「授業力アップを目指す!アクティブ・ラーニング講座～入門編～」を視聴     | 8月27日(金)までに<br>オンラインレポート提出  |  | p. 7<br>参照 |
| 212  | 学習指導           | 授業実践研究Ⅳ<br>（授業実践研究の進め方）                     | <嶺北><br>9月14日(火)<br>13:30～16:30<br>教育総合研究所  | <嶺南><br>9月16日(木)<br>13:30～16:30<br>嶺南教育事務所 |            |
| 261a | 学習指導<br>連携・協働  | 授業実践研究の共有<br>（初任者・2年目・3年目の<br>クロスセッション）     | 下記4日のうちいずれか1日<br>11月4日(木) 教育総合研究所<br>11日(木) 教育総合研究所<br>18日(木) 教育総合研究所<br>25日(木) 嶺南教育事務所<br>いずれも 13:30～16:30 |  | p. 4<br>参照 |
| 291  | 連携・協働<br>福井の力  | ボランティア活動1回                                  | 各自計画・申込   |  | p. 4<br>参照 |

【中学校】

| コード№ | 育成指標分類         | 研修名（研修内容）                                   | 実施日時・会場   |  | 備考        |
|------|----------------|---|---|--|-----------|
|      | ***            | 研修ガイダンス                                     |   |  |           |
| 211  | 学習指導           | 授業実践研究Ⅲ<br>（授業実践研究の意義）                      | <嶺北><br>5月12日(水)<br>9:30～16:00<br>教育総合研究所   | <嶺南><br>5月11日(火)<br>9:30～16:00<br>嶺南教育事務所  |           |
| 221  | 生徒指導<br>マネジメント | 学級運営①<br>・事前に、通信型研修 G212<br>「学級づくりシリーズⅡ」を視聴 |   |  |           |
| 254  | 学習指導           | ICT タブレット活用                                 | 6月7日(月)<br>13:30～16:30<br>4拠点ハイブリッド型  |  | p.4<br>参照 |
| 214  | 学習指導           | 主体的・対話的で深い学びの指導と評価<br>（パフォーマンス評価など）         | 8月19日(木)<br>9:30～16:00<br>教育総合研究所   |  |           |
| G111 | 学習指導           | 通信型研修「授業力アップを目指す!アクティ<br>ブ・ラーニング講座～入門編～」を視聴 | 8月27日(金)までに<br>オンラインレポート提出  |  | p.7<br>参照 |
| 212  | 学習指導           | 授業実践研究Ⅳ<br>（授業実践研究の進め方）                     | <嶺北><br>9月15日(水)<br>13:30～16:30<br>教育総合研究所  | <嶺南><br>9月16日(木)<br>13:30～16:30<br>嶺南教育事務所 |           |
| 261a | 学習指導<br>連携・協働  | 授業実践研究の共有<br>（初任者・2年目・3年目の<br>クロスセッション）     | 下記4日のうちいずれか1日<br>11月4日(木) 教育総合研究所<br>11日(木) 教育総合研究所<br>18日(木) 教育総合研究所<br>25日(木) 嶺南教育事務所<br>いずれも 13:30～16:30 |  | p.4<br>参照 |
| 291  | 連携・協働<br>福井の力  | ボランティア活動1回                                  | 各自計画・申込   |  | p.4<br>参照 |

【高等学校】

| コード№ | 育成指標分類         | 研修名（研修内容）                                   | 実施日時・会場   |  | 備考        |
|------|----------------|---|---|--|-----------|
|      | ***            | 研修ガイダンス                                     |   |  |           |
| 211  | 学習指導           | 授業実践研究Ⅲ<br>（授業実践研究の意義）                      | 5月12日(水)<br>9:30～16:00<br>教育総合研究所   |  |           |
| 221  | 生徒指導<br>マネジメント | 学級運営①<br>・事前に、通信型研修 G212<br>「学級づくりシリーズⅡ」を視聴 |   |  |           |
| 254  | 学習指導           | ICT タブレット活用                                 | 6月7日(月)<br>13:30～16:30<br>4拠点ハイブリッド型  |  | p.4<br>参照 |
| 214  | 学習指導           | 主体的・対話的で深い学びの指導と評価<br>（パフォーマンス評価など）         | 8月19日(木)<br>9:30～16:00<br>教育総合研究所   |  |           |
| G111 | 学習指導           | 通信型研修「授業力アップを目指す!アクティ<br>ブ・ラーニング講座～入門編～」を視聴 | 8月27日(金)までに<br>オンラインレポート提出  |  | p.7<br>参照 |
| 212  | 学習指導           | 授業実践研究Ⅳ<br>（授業実践研究の進め方）                     | 9月15日(水)<br>13:30～16:30<br>教育総合研究所  |  |           |
| 261a | 学習指導<br>連携・協働  | 授業実践研究の共有<br>（初任者・2年目・3年目の<br>クロスセッション）     | 下記4日のうちいずれか1日<br>11月4日(木) 教育総合研究所<br>11日(木) 教育総合研究所<br>18日(木) 教育総合研究所<br>25日(木) 嶺南教育事務所<br>いずれも 13:30～16:30 |  | p.4<br>参照 |
| 291  | 連携・協働<br>福井の力  | ボランティア活動1回                                  | 各自計画・申込   |  | p.4<br>参照 |

## 【特別支援学校】

| コードNo | 育成指標分類         | 研修名（研修内容）                                   | 実施日時・会場  | 備考         |
|-------|----------------|---|--|------------|
|       | ***            | 研修ガイダンス                                     |  |            |
| 211   | 学習指導           | 授業実践研究Ⅲ<br>（授業実践研究の意義）                      | 5月12日（水）<br>9:30～16:00<br>教育総合研究所  |            |
| 221   | 生徒指導<br>マネジメント | 学級運営①<br>・事前に、通信型研修 G212<br>「学級づくりシリーズⅡ」を視聴 |  |            |
| 254   | 学習指導           | ICT タブレット活用                                 | 6月7日（火）<br>13:30～16:30<br>4拠点ハイブリッド型   | p. 4<br>参照 |
| 282   | 生徒指導           | 特別支援教育研修                                    | 各自選択・申込  | p. 4<br>参照 |
| G111  | 学習指導           | 通信型研修「授業力アップを目指す!アクティブ・ラーニング講座～入門編～」を視聴     | 8月27日（金）までに<br>オンラインレポート提出   | p. 7<br>参照 |
| 281   | 学習指導           | 授業実践研究Ⅳ<br>（授業実践研究の進め方）                     | 9月15日（水）<br>13:30～16:30<br>教育総合研究所   |            |
| 261a  | 学習指導<br>連携・協働  | 授業実践研究の共有<br>（初任者・2年目・3年目の<br>クロスセッション）     | 下記3日のうちいずれか1日<br>11月11日（木）特別支援教育センター<br>18日（木）特別支援教育センター<br>25日（木）特別支援教育センター<br>いずれも 13:30～16:30 | p. 4<br>参照 |
| 291   | 連携・協働<br>福井の力  | ボランティア活動1回                                  | 各自計画・申込  | p. 4<br>参照 |

## 2 授業実践研究

授業力向上のためには、実践と省察を継続して行う必要がある。そこで、2年目研修では初任時の成果と課題をふまえ、各自が「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れたテーマで授業実践研究に取り組むことを研修の中心とする。

### 1 授業実践研究の進め方

授業実践を記録することにより、指導の妥当性や課題を検討することができる。それをもとに授業の改善を繰り返すことで、教員の力量は高められていく。こうした年間を通した取組みが、3年目研修の授業実践研究につながり、学び続ける教員の土台となる。

まずは5月の研修「授業実践研究の意義」で、各自が授業実践研究のテーマ（案）を持ち寄り、グループ協議を経て研究のねらいを明確にする。その上で、授業実践の概要を完成させる。

各学校での実践では、児童・生徒の発言や行動などの事実や、それに対する教員の対応等を記録し、省察を行う。このサイクルを繰り返し、9月の「授業実践研究の進め方」においても、講義やグループ協議を通して研究を深めていく。

そして、11月の「授業実践研究の共有」（クロスセッション）で発表した後も実践を続け、授業実践研究のまとめを仕上げる。この年間を通した取組みの成果と課題を、3年目の実践につなげることになる。

## 2 クロスセッション

コード No. 261a 授業実践の共有は初任者、2年目、3年目の若手教員が校種や教科を同じくする小グループを編成し、実践研究や思いを共有することで、幅広い学びを獲得する。また、経験年数の異なる教員が交流し、自らの経験をもとにした語りと傾聴によりコミュニケーション能力を高めると共に、自律した教育者としての自覚を持ち、一層の成長を図る。

〈受講希望日時について〉

- ・事前に管理職に相談し、下記のとおり連絡すること。
- ・受講決定日は、研究所から別途文書で通知する。

クロスセッション希望日の連絡

【方法】 1、2のいずれかの方法で連絡すること。

- 1 Google フォーム (URL : <https://bit.ly/3c0w5E1>) にて送信
- 2 2年目研修専用メール (wakate2@fec.fukui-c.ed.jp) にて送信

【内容】 (メール送信の場合)

件名 【勤務校(市町・学校名) 氏名】 クロスセッションについて  
本文 担当学年(担任・副担任・特支学級)  
第1希望日、第2希望日

【締切】

令和3年5月28日(金)



Google フォーム

### 3 4 拠点ハイブリッド型研修

コード No. 254 ICT タブレット活用研修は、校種・地域で会場を分散し、実施する。

福井市の小中学校 . . . . . 教育総合研究所  
県立学校、大野市、勝山市、坂井市、あわら市、永平寺町の小中学校 . . . 県産業情報センター  
鯖江市、越前市、越前町、池田町、南越前町の小中学校 . . . . . 越前市文化センター  
嶺南の小中学校 . . . . . 嶺南教育事務所

### 4 教科別研修Ⅱ および特別支援教育研修

【小学校】コード No. 213 教科別研修Ⅱは、教育総合研究所が主催する書写、音楽、図工、家庭の4つの講座から1講座(1日分)を選択し、各自で申し込み受講する。

【特別支援学校】コード No. 282 特別支援教育研修は、特別支援教育センターが主催する講座から1講座を選択し、各自で申し込み受講する。

### 5 ボランティア活動

#### 1 目的

教職以外の非営利団体における様々なボランティア活動を行うことにより、地域社会との連携・協働のネットワークを形成するとともに、視野の拡大を図り多様なものの見方や考え方を身に付ける。他者への貢献、奉仕の精神、新しい発想や視点を、学校での子どもたちの基本的な活動の中で活かし、各校の活性化や特色ある教育活動につなげることを通して、教員としての資質の向上を図る。

#### 2 実施期間

上記の目的に沿った活動(3時間程度を1回)を計画し、年度末の校外研修記録・報告書と押印簿の提出に間に合うように、年度内(なるべく冬期休業終了まで)に実施すること。

### 3 実施施設・機関・団体(以下「活動先」)の選定について

活動先の選定については、以下のことに留意して行うこととする。

- ・教員の活動先として、体験内容などが目的に照らして適切であること。
- ・活動の目的を理解し、積極的に受け入れていただけること。
- ・旅費の節約のためにも勤務校の近隣が好ましい。

### 4 計画・実施における手順

- ①対象者は、管理職と相談の上、活動先と連絡をとり、趣旨説明と受け入れの打診をする。活動期日と内容を決めて「ボランティア活動計画書」(様式3)を作成し、対象者のみ押印する。
- ②学校長は、ボランティア活動の意義をふまえ、ボランティア活動の許可をする。
- ③活動先へ、依頼文書(各学校の様式)を送る。
- ④活動先へ出向いて、挨拶と活動についての確認を行い、計画書に担当者の印をもらう。
- ⑤学校長印を押した計画書を、教育総合研究所長あてに1部提出する。(実施日の1週間前までに)
- ⑥ボランティア活動を実施する。
- ⑦活動後は、手引きの「校外研修の記録・報告書」に記入して復命し、押印簿に校長印をもらう。活動先への礼状は、学校裁量とする。

## 6 提出書類等

### 1 校長が作成するもの

「欠席届」(共通様式1)・・・年度内に代替研修が受講可能な場合

「一部延期願」(共通様式2)・・・受講が次年度以降になる場合

「改姓届」(共通様式3)

様式に準じて作成し、6の3. 提出経路に従って提出する。

### 2 対象者が作成するもの

押印簿(コピー)、校外研修の記録・報告書=2年目研修用=(コピー)

押印簿はコピーしたものに押印する。6の3. 提出経路に従って、当該市町教育委員会、特別支援教育センターには令和4年3月4日(金)、教育総合研究所には同年3月11日(金)までに提出する。

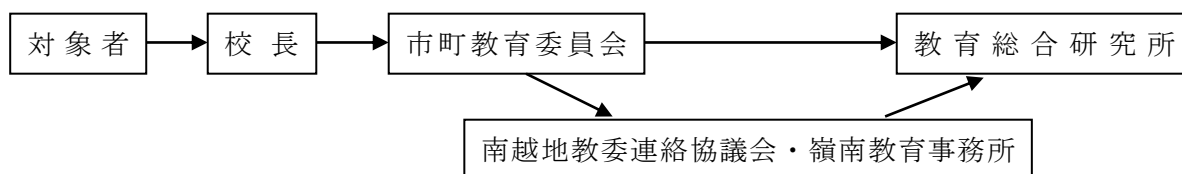
### 3 提出経路 (欠席届、一部延期願、改姓届、押印簿(コピー)、校外研修の記録・報告書(コピー))

- ・書類提出の際は、それぞれの関係機関長宛に作成し、下の経路に従って提出すること。
- ・封筒には「2年目研修〇〇〇〇在中」と朱書きすること。

#### ○公立小・中学校

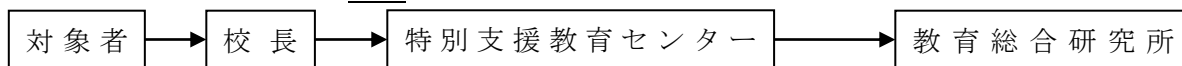
\* 嶺北の市町(池田町・南越前町を除く)は市町教育委員会に2部提出

\* 池田町・南越前町および嶺南の市町は市町教育委員会に3部提出



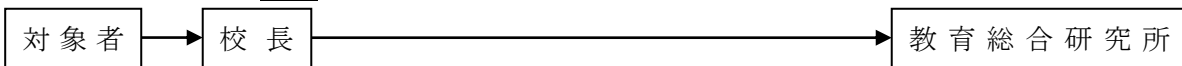
○特別支援学校

\* 特別支援教育センターに2部提出



○県立学校・その他

\* 教育総合研究所に1部提出



これらの様式は教育総合研究所 HP [各種様式](#) からダウンロード可能

共通様式1【欠席届】

|                         |   |          |
|-------------------------|---|----------|
|                         |   | 令和○年○月○日 |
| ○ ○ ○ ○ 長 様             |   |          |
|                         | ○ ○ ○ 学 校                                 |          |
|                         | 校長 ○ ○ ○ ○                                | 印        |
| 令和3年度 2年目研修 欠席届         |   |          |
| このことについて、下記のとおり提出いたします。 |   |          |
| 記                       |   |          |
| 1 対象者の職員番号              | ○ ○ ○ ○ ○ ○                               |          |
| 2 対象者の職名・氏名             | ○ ○ ・ ○ ○ ○ ○ ○ ○                         |          |
| 3 欠席する研修                | 研修期日・コードNo.・研修名<br>(代替研修 研修期日・コードNo.・研修名) |          |
| 4 欠席する理由                | ○ ○ ○ ○                                   |          |

共通様式2【一部延期願】

|                         |                   |          |
|-------------------------|-------------------|----------|
|                         |                   | 令和○年○月○日 |
| ○ ○ ○ ○ 長 様             |                   |          |
|                         | ○ ○ ○ 学 校         |          |
|                         | 校長 ○ ○ ○ ○        | 印        |
| 令和3年度 2年目研修 一部延期願       |                   |          |
| このことについて、下記のとおり提出いたします。 |                   |          |
| 記                       |                   |          |
| 1 対象者の職員番号              | ○ ○ ○ ○ ○ ○       |          |
| 2 対象者の職名・氏名             | ○ ○ ・ ○ ○ ○ ○ ○ ○ |          |
| 3 延期する研修                | コードNo.・研修名        |          |
| 4 延期する理由                | 産休・育休の場合は、期間も記入   |          |



### 共通様式3【改姓届】

|                         |                           |
|-------------------------|---------------------------|
| 令和○年○月○日                |                           |
| ○ ○ ○ ○ 長 様             | ○ ○ ○ 学 校<br>校長 ○ ○ ○ ○ 印 |
| 令和3年度 2年目研修 改姓届         |                           |
| このことについて、下記のとおり提出いたします。 |                           |
| 記                       |                           |
| 1 対象者の職員番号              | ○○○○○○                    |
| 2 改姓前氏名                 | ○○ ○○○                    |
| 3 改姓後氏名                 | ○○ ○○○                    |

#### 4 提出レポートと記入上の注意（部数については、p. 10 の提出物等一覧を参照）

##### (1) 「授業実践研究の概要（案）」（様式1）A4判たて、1ページ程度

コードNo.211「授業実践研究Ⅲ」では、当日8部持参する。

- ・特別支援学校は、昨年度末メールにて送付された「令和2年度 初任者研修 教育実践研究 最終報告レポート集」も持参

##### (2) 「授業実践研究の概要」（様式1）A4判たて、1ページ程度

コードNo.211の研修を経てまとめたものを、5月28日（金）までに、次のとおり提出する。

- ・小・中・高等学校は、教育総合研究所にメールにて送付（PDF）
- ・特別支援学校は、特別支援教育センターにメールにて送付（PDF）

##### (3) 「授業実践研究の中間まとめ」（様式2）A4判たて、3ページ程度

- ・小・中・高等学校は、8月27日（金）までに、教育総合研究所にメールにて送付（PDF）

コードNo.212「授業実践研究Ⅳ」では、当日8部持参する。

コードNo.261a「授業実践研究の共有」では、コードNo.212「授業実践研究Ⅳ」におけるグループ協議での学びや9～11月の実践等を追記して作成し、当日8部持参する。

- ・特別支援学校は、特別支援教育センターにメールにて送付（PDF）

コードNo.281「授業実践研究Ⅳ」では、当日8部持参する。

コードNo.261a「授業実践研究の共有」では、コードNo.281「授業実践研究Ⅳ」におけるグループ協議での学びや9～11月の実践等を追記して作成し、当日8部持参する。

##### (4) 「授業実践研究のまとめ」（様式2）A4判たて、5ページ程度

令和4年1月28日（金）までに、次のとおり提出する。

- ・小・中・高等学校は、教育総合研究所にメールにて送付（PDF）
- ・特別支援学校は、教育総合研究所、特別支援教育センターそれぞれにメールにて送付（PDF）

##### (5) 「通信型研修受講オンラインレポート」

8月27日（金）までにG111を視聴後、画面下部にリンクされた「【2年目研修】オンラインレポート」ページに移動して、レポートを入力する。入力を終わったら、「あなたの回答を送信する」をクリックする。なお、手引き2のp.29「校外研修の記録・報告書」＝通信型＝の欄に記入をしておくこと。

##### (6) 「ボランティア活動計画書」（様式3）

p.4～5の5を参照し、教育総合研究所長あて1部郵送する。

### 様式1【授業実践研究の概要（案）および概要】

※A4判たて、1ページ

※文字10.5ポイント・明朝体、45文字40行、周囲余白2cm、外枠はつけない

※特別支援学校は、別途指示あり

令和3年度 2年目研修 授業実践研究の概要（または 概要（案））

勤務校 \_\_\_\_\_ 職名・氏名 \_\_\_\_\_

- 1 テーマ
- 2 テーマ設定の理由（先行研究や昨年度の振り返りの中で）
- 3 研修を進める上での工夫・配慮

### 様式2【授業実践研究の（中間まとめ・まとめ）】

※A4判たて、中間まとめは3ページ程度、まとめは5ページ程度（**両面印刷**）

※文字10.5ポイント・明朝体、45文字40行、周囲余白2cm、外枠はつけない

令和3年度 2年目研修 授業実践研究のまとめ

研究テーマ（12ポイント、センタリング）

—必要に応じてサブテーマ—

勤務校 \_\_\_\_\_ 職名・氏名 \_\_\_\_\_

- 1 テーマ設定の理由
- 2 実践内容
  - ・主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業実践を行う。
  - ・単発ではなく、年間あるいは単元を通して実践し、記録する。
  - ・その時々で考察を加え、次の実践の軌道修正をしていく。
  - ・実践の意味を捉えた小見出しを設定する。
  - ・児童・生徒の実態を時系列で追う。
  - ・生徒理解や学級経営とのつながりや関係を意識する。
  - ・教師自身の学び（児童・生徒から、文献、同僚、研究会等）を具体的に記録する。
- 3 まとめ
  - ・1年間の実践を総合的に振り返る。
  - ・ターニングポイントとなったことは丁寧に解説する。
  - ・次年度以降の自身の課題を明確にする。

【引用・参考文献】

様式3【ボランティア活動計画書】

| 令和3年度 2年目研修 ボランティア活動計画書 |   |
|-------------------------|---|
| 勤務校 _____               | 校長名 _____ 印   |
| 職 名 _____               | 氏 名 _____ 印   |
| 活動先                     | 名称<br>〒<br>住所<br>電話番号<br>活動先代表者 職 氏名<br>活動先担当者 職 氏名 印 |
| 活動期日                    |   |
| 活動内容<br>活動時間            |   |
| 備 考                     |   |

**7** 研修についての問合せ先

○福井県教育総合研究所 教職研修センター

〒919-0461 坂井市春江町江留上緑8-1 TEL(0776)58-2160 FAX(0776)58-2161

2年目研修専用メールアドレス E-mail wakate2@fec.fukui-c.ed.jp

\*件名(標題)に、勤務校と氏名を入れて送る

○福井県特別支援教育センター

〒910-0846 福井市四ツ井2-8-1

TEL(0776)53-6574

FAX(0776)52-6272

E-mail tokuse03@pref.fukui.lg.jp

○福井県教育庁嶺南教育事務所

〒917-0241 小浜市遠敷2丁目205

TEL(0770)56-1302

FAX(0770)56-1391

● 2年目研修提出物等一覧

※それぞれの提出先を確認の上、管理職を通して提出。

レポート・計画書等は市町教委を経由せず提出先に直接提出。

| 提出書類等                                     |  | 設置区分<br>校種     | 市町小中学校   |                 | 県立・その他       |                 |
|---|--|----------------|--|-----------------|--------------|-----------------|
|   |  |                | 嶺北<br>(右以外)  | 池田町・南越前町<br>・嶺南 | 中学校・<br>高等学校 | 特別支援学校          |
| 各<br>書<br>類                               | ・欠席届(共通様式1)                            | 提出先            | 市町教育委員会  |                 | 研究所          | 特支センター          |
|   | ・一部延期願(共通様式2)                          | 部数             | 2部   | 3部              | 1部           | 2部              |
|   | ・改姓届(共通様式3)                            | 締切・備考          | 発生都度   |                 |              |                 |
|   | ・押印簿<br>(手引き2 p.31、コピーしたも<br>のに押印すること) | 提出先            | 市町教育委員会  |                 | 研究所          | 特支センター          |
|   |  | 部数             | コピー2部  | コピー3部           | コピー1部        | コピー2部           |
|   |  | 締切・備考          | 3/4(金)   |                 | 3/11(金)      | 3/4(金)          |
|   | ・校外研修の記録・報告書<br>2年目研修用<br>(手引き2 p.29)  | 提出先            | 市町教育委員会  |                 | 研究所          | 特支センター          |
|   |  | 部数             | コピー2部  | コピー3部           | コピー1部        | コピー2部           |
|   |  | 締切・備考          | 3/4(金)   |                 | 3/11(金)      | 3/4(金)          |
| レ<br>ポ<br>ー<br>ト<br>・<br>計<br>画<br>書<br>等 | ・授業実践研究の概要(案)<br>(様式1)                 | 締切・備考          | 5/11(火)・12(水)の研修の際、8部持参する<br>*特別支援学校は、「令和2年度 初任者研修 教育実践研究 最終報<br>告レポート集」も持参する        |                 |              |                 |
|   | ・クロスセッション希望日                           | 提出方法           | Google フォーム または メールにて連絡  |                 |              |                 |
|   |  | 締切・備考          | 5/28(金) *第2希望までの希望日と実施会場を連絡  |                 |              |                 |
|   | ・授業実践研究の概要<br>(様式1)                    | 提出先            | 研究所  |                 |              | 特支センター          |
|   |  | 部数             | メールにて送付(PDF)   |                 |              |                 |
|   |  | 締切・備考          | 5/28(金) *5月の研修を経て、概要をまとめる  |                 |              |                 |
|   | ・授業実践研究の中間まとめ<br>(様式2)                 | 提出先            | 研究所  |                 |              | 特支センター          |
|   |  | 部数             | メールにて送付(PDF)   |                 |              |                 |
|   |  | 締切・備考          | 8/27(金)<br>*9月の研修では、8部持参する<br>*11月のクロスセッションでは、9月の研修での学びや、その後の実践も<br>含めてまとめたものを8部持参する |                 |              |                 |
|   | ・授業実践研究のまとめ<br>(様式2)                   | 提出先            | 研究所  |                 |              | ①研究所<br>②特支センター |
|   |  | 部数             | メールにて送付(PDF)   |                 |              |                 |
|   |  | 締切・備考          | 1/28(金) *クロスセッションでの学びや、その後の実践も含めてまとめ<br>たものを提出する                                     |                 |              |                 |
| ・通信型研修受講<br>オンラインレポート                     | 提出方法                                   | オンライン上で提出      |  |                 |              |                 |
|   | 締切・備考                                  | 8/27(金) *p7 参照 |  |                 |              |                 |
| ・ボランティア活動計画書<br>(様式3)                     | 提出先                                    | 研究所長           |  |                 |              |                 |
|   | 部数                                     | 1部             |  |                 |              |                 |
|   | 締切・備考                                  | 実施日の1週間前まで     |  |                 |              |                 |
| そ<br>の<br>他                               | ・異動の場合<br>(2年目→3年目)                    | 連絡先            | 異動の公表後、直ちに(3月中)研究所2年目研修担当へ電話で連絡す<br>る  |                 |              |                 |

※提出物はできるだけ学校毎にまとめて送付すること。

# 福井県教員育成指標

## 福井の教育が目指す育てたい人間像

自らの個性を発揮し、人生を切り拓くために  
挑戦し続ける人

多様な人々の存在を認め、  
協働して新たな価値を生み出す人

ふるさとや自然を愛し、  
いっどこにいても社会や地域に貢献する人

## 福井が求める教師像

校種・教科等に関する  
専門的知識・実践的技能  
を持った人

専門分野に偏らない幅広い教養を身につけ、  
自立した社会人としての良識や  
幅広い視野を持った人

子どもたちはもとより、同僚や家庭、  
地域社会と円滑な人間関係を築き、  
課題に対して臨機応変に対応できる人

教育に対する情熱・使命感に  
燃え、常に学び続ける  
向上心を持った人

| 資質・能力                 | ステージ  | 福井県が求める採用時の姿   | 第1ステージ   |   |   | 第2ステージ                   |  |  | 第3ステージ                  |  |    | 資質・能力 | ステージ           | 管理職   |  |  |
|-----------------------|---|--|--|---|---|--------------------------|--|--|-------------------------|--|----|-------|----------------|---|--|--|
|                       |   |  | 教員としての基盤を固める   |   |   | 中堅教員・ミドルリーダーとして教育活動を牽引する |  |  | 経験を生かして指導・助言し、組織的な運営をする |  |    |       |                |   | トップリーダーとして教育活動を推進する  |  |
| 素養                    | 教育的愛情使命感  | 子どもに対する愛情<br>・教職への情熱   | 子どもの個性を尊重し、夢と希望、豊かな人間性を育む熱意<br>・教職に対する使命感、誇り、責任感   | 学校教育を牽引する使命感、責任感  | 組織的な運営を行う使命感、責任感<br>・学校経営に積極的に参画する責任感   |                          |  |  |                         |  |    | 素養    | 教育的愛情使命感責任感    | 将来を担う子どもの成長に資する使命感や責任感の深い自覚<br>・よりよい学校教育の実現に向けた努力 |  |  |
|                       | 倫理親人間性社会性   | 高い人権意識<br>・豊かな人間性、広い視野<br>・社会人としての一般常識   | 確かな人権感覚、子どもの模範となる倫理観<br>・人間的な魅力の涵養、信頼関係の構築(子ども、教職員、家庭、地域社会 など)<br>・謙虚な姿勢、法令の遵守、サービスの誠実かつ公正な遂行  |   |   |                          |  |  |                         |  |    |       | 素養             | 倫理親人間性社会性   | 豊かな人間性、広い視野、高い人権意識の醸成<br>・子どもや教職員の示範となる言動<br>・子ども、家庭、地域社会などとの信頼関係の構築 |  |
|                       | コミュニケーション力  | 他者との意思の疎通と協働   | 同僚性の構築、よりよい教育の実現に向けた教職員間の意思の疎通と共通理解、合意形成の推進<br>・子ども、家庭、地域社会などとの円滑な意思の疎通  |   |   |                          |  |  |                         |  |    |       |                | 素養  | 判断力学び続ける力探究心   | 明確な教育理念と省察による自己の職能の成長<br>・正確で迅速な情報収集、状況把握、的確な判断を行う力<br>・教育情報や国の動向、時代の流れの的確な把握  |
|                       | 学び続ける力探究心   | 学びの専門家としての学び続ける意欲<br>・多様な社会体験への挑戦  | 自ら学び続ける基盤の構築(課題の発見・解決の努力・省察する力)<br>・自主的な協働研究への積極的な参画   | 専門性の深化とキャリアアップ<br>・学校内や専門分野における研究の牽引<br>・若手教員の指導への積極的な関わり   | 自らの実践の深化と改善<br>・学校内や専門分野の組織的な研究の運営<br>・教職員の資質・能力を高める指導、助言   |                          |  |  |                         |  |    |       |                |   | 素養   | 創造的に思考する力コミュニケーション力  |
| 学習指導                  | 教科等の専門性   | 教科等を学ぶ意義の理解<br>・教科等で培う力の把握   | 教科等において、多面的・多角的な視点での研究の推進と専門性の向上<br>・福井の未来の担い手となるために、教科等において、人間性を育む教育を推進<br>・幼・小・中・高を通じた学びの接続の視点での研究の推進<br>・子どもの主体的な学び、確かな学力、生きる力の追究   |   |   |                          |  |  |                         |  |    | 素養    |                |   |  | 業務改善(働き方改革に向けて)  |
|                       | 授業力   | 教科等の基礎的な指導力<br>・主体的・対話的で深い学びへの理解<br>・探究的な学びの計画、立案  | 教科等の特性や本質の理解<br>・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた楽しくわかる授業<br>・主体的・対話的で深い学びへの工夫<br>・指導と評価の一体化に基づく実践<br>・子どもの学びの見取りの意義と実践<br>・ICT機器の積極的な活用やプログラミングに関する学習活動の工夫<br>・校内研究への主体的な取組み、積極的な授業公開の実施         | 省察をもとにした授業改善<br>・教科等の特性や本質の追究<br>・多様な授業形態の工夫<br>・主体的・対話的で深い学びの実現<br>・教科等横断的なカリキュラムデザイン<br>・校内研究の中核として授業実践を牽引<br>・若手教員への授業力を高める指導、助言 | 広い視野での授業改善<br>・教科等の特性や本質を理解した実践<br>・資質・能力を培う授業の提案<br>・主体的・対話的で深い学びの深化<br>・学校全体の授業力向上に係る企画<br>・学校内の中心として示範となる授業実践の推進<br>・校内研究の中心として組織を運営<br>・学校内外の教職員への指導、助言 |                          |  |  |                         |  | 素養 |       | 組織マネジメント       |   |  | 学校環境の特性と課題の把握、学校運営のビジョンの明示<br>・学校評価を分析して学校運営のビジョンとスクールプランを策定する力<br>・スクールプランを実現する具体的な方策の決定<br>・組織運営に関わる内部及び外部環境の把握と強みを生かした戦略的な組織づくり<br>・一人一人の教職員が意欲を持って活動できる機会の構築、適性に合った職務の分掌による組織運営<br>・福井型コミュニティ・スクールによる地域と連携した学校づくり<br>・子どもの個性、特性に応じた指導、支援を徹底する組織づくり<br>・特別支援教育のコーディネート力を高め、組織的なインクルーシブ教育の推進 |
|                       | 福井の教育力を支える研究・連携   | 福井の教育の特長の理解<br>・「ふるさと福井」を大切に思う心  | 子ども自身がその個性に気づき伸ばしていけるような「引き出す教育」、学びを自ら進んで「楽しむ教育」を進めるための授業の実践的研究、協働による研究体制、同僚性の構築<br>・縦もち教科担任制の運営、教科の学びの系統性の構築<br>・幼・小・中・高の接続の視点を持った教育の推進<br>・自主研究会への主体的な参画<br>・教員間の世代間交流による優れた教育力の継承 |   |   |                          |  |  |                         |  |    |       |                | 素養  |  | 教職員理解人材育成  |
|                       | 幼児・児童・生徒理解  | 子どもの理解の重要性の認識<br>・子どもの発達段階への理解<br>・一人一人に向き合う意識   | 子どもの個性、特性の理解<br>・インクルーシブ教育の視点を踏まえた、認め合い高め合う学級経営の実践   | 学級および学年全体の子どもの理解<br>・学年の生徒指導の中核として、子どもの個性、特性に応じた諸課題への対応   | 組織的な学年経営と学校全体の子どもの理解<br>・子どもの個性、特性に応じた組織的な生徒指導の企画、運営  |                          |  |  |                         |  |    |       |                |   | 素養   | 学校安全危機管理   |
| 問題行動への対応              | 個や集団への指導と手立ての理解<br>・一人一人の子どもに寄り添う態度、子どもの声に対する傾聴<br>・多様な子どもに対する寛容の心と態度 | 子どもの個性、特性に応じた指導、支援<br>・子どもの特性を理解した原因分析力<br>・学校の生徒指導の方針に対する理解<br>・報告・連絡・相談を通じたチームで対応する指導の実践<br>・家庭などとの信頼関係の構築、連携・協働 | チームの中核として子どもへの適切な指導<br>・子どもの個性、特性に応じた指導方針を基にチームの中核として集団を牽引<br>・若手教員に対する適切な指導、支援<br>・家庭、地域社会などとの信頼関係の構築、連携・協働   | チームの責任者として教職員に対する指導、助言<br>・子どもの個性、特性に応じた組織的な指導方針の立案<br>・チームの責任者として役割と責任を明確にした組織的な対応の企画・調整<br>・速やかな情報の共有と適切な管理<br>・家庭や地域、関係機関との連携・協働 |   |                          |  |  |                         |  |    | 素養    | 財務管理           |   |  | 学校の実態に応じた計画的な教育環境整備と設備・備品等の充実<br>・事務職員と連携した予算の適正で計画的な執行管理  |
| 特別な配慮を要する幼児・児童・生徒への対応 | 特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の基本的な知識<br>・発達障がいに対する知識、理解                       | 子どもの個性、特性に応じた特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の理解、実践<br>・合理的配慮に対する理解、実践  | 子どもの個性、特性に応じた特別支援教育や外国人児童生徒等への支援の中核として実践を牽引<br>・子どもの個性、特性に応じたキャリア教育の推進   | チームの責任者として、子どもの個性、特性に応じた特別支援教育や外国人児童生徒等への支援に関する組織的な対応の企画・調整と教職員への指導、助言<br>・関係機関と協働した課題の改善、解決  |   |                          |  |  |                         |  | 素養 |       | 家庭や地域社会との連携・折衝 |   |  | スクールプランや学校評価の家庭や地域社会への効果的な発信と意見集約<br>・家庭や地域社会の学校への期待、関心の把握と教育活動への活用<br>・地域の教育資源の積極的な活用   |
| 業務改善(働き方改革に向けて)       | 効率的な時間管理に対する意識  | 自己の勤務時間の管理<br>・PDCAサイクルを意識した、効率的、効果的な業務遂行の工夫<br>・業務効率化のための積極的なICT等の活用と推進   | チームの中核として、効率的、効果的な業務遂行の工夫<br>・校務分掌や学年活動における会議や行事等の精査と精選の提案と実践  | チームの責任者として、若手や中堅教員に対する働き方への示範と助言<br>・学校教育活動全体の精査と精選の具体的な提案と組織的な実践   |   |                          |  |  |                         |  |    |       | 素養             | 家庭や地域社会との連携                                       |  | 学校の実態に応じた計画的な教育環境整備と設備・備品等の充実<br>・事務職員と連携した予算の適正で計画的な執行管理  |
| 学年経営学級経営              | 理想とする学級像の形成   | 学級目標の達成に向けた子どもたちの協働的な学級づくりの指導<br>・スクールプランの達成に向けた教職員の協働的な実践<br>・報告・連絡・相談による教職員間の協働                                  | 学年のリーダーとして率先して協働的な活動を牽引<br>・スクールプランの達成に向けて、中核として学校を牽引<br>・若手教員の抱える課題の理解、支援   | 学級間、学年間の連携を意識した学校経営への参画<br>・スクールプランの達成に向けて学年や分掌の責任者としての組織的な運営<br>・協働するネットワークの構築と指導、助言   |   |                          |  |  |                         |  |    |       |                | 素養  | 家庭や地域社会との連携  | 学校の実態に応じた計画的な教育環境整備と設備・備品等の充実<br>・事務職員と連携した予算の適正で計画的な執行管理  |
| 社会の変化への対応             | 学校現場の現状の理解<br>・社会情勢(国際感覚・多様性)に対する理解                                   | 学校の実態、社会情勢の変化、教育改革の動向に対する理解  | 学校の実態、社会情勢の変化、教育改革の動向に対する具体的な方策の提案と実践  | 学校の実態、社会情勢の変化、教育改革の動向に対する具体的な方策への指導、助言と組織的な実践   |   |                          |  |  |                         |  |    | 素養    |                |   | 家庭や地域社会との連携  | 学校の実態に応じた計画的な教育環境整備と設備・備品等の充実<br>・事務職員と連携した予算の適正で計画的な執行管理  |
| 学校安全危機管理              | 学校安全、危機管理に関する基礎的な知識、理解  | 学級や集団の適切な安全管理<br>・勤務校の危機管理体制に対する理解   | チームの中核としての学校安全、危機管理上の課題への対処<br>・適切な安全管理、結果を予測した危機管理の徹底   | チームの責任者としての学校安全、危機管理のマネジメント<br>・学校の事件、事故の対処と未然防止に対する教職員の指導、助言   |   |                          |  |  |                         |  | 素養 |       |                |   | 家庭や地域社会との連携  | 学校の実態に応じた計画的な教育環境整備と設備・備品等の充実<br>・事務職員と連携した予算の適正で計画的な執行管理  |
| 人材育成                  | 様々な課題に対応する力   | 学校内外の自主研究への参画  | 若手教員に対する指導、助言  | 校内研修、自主研究の企画、運営   |   |                          |  |  |                         |  |    |       | 素養             |   | 家庭や地域社会との連携  | 学校の実態に応じた計画的な教育環境整備と設備・備品等の充実<br>・事務職員と連携した予算の適正で計画的な執行管理  |
| 連携・協働                 | 組織における協働  | 仲間と協働して、創造する経験<br>・協働の良さを子どもに発信する力   | 教職員間の同僚性の構築<br>・チームで対応することへの理解と実践  | ミドルリーダーとしての自覚と積極的な行動<br>・チームの中核として教員集団を牽引してチームで対応する力を向上   | チームの責任者として同僚性が発揮できる職場環境の構築  |                          |  |  |                         |  |    |       |                | 素養  | 家庭や地域社会との連携  | 学校の実態に応じた計画的な教育環境整備と設備・備品等の充実<br>・事務職員と連携した予算の適正で計画的な執行管理  |
|                       | 家庭や地域社会との連携   | 地域社会に貢献する経験<br>・地域社会の中で子どもを育成する意義の理解   | 家庭、地域社会、関係機関との連携・協働のネットワークの形成<br>・家庭、地域社会への積極的な情報発信と良好なコミュニケーションの構築<br>・学校内外の諸活動に対する積極的な参画   |   |   |                          |  |  |                         |  |    | 素養    |                |   | 家庭や地域社会との連携  | 学校の実態に応じた計画的な教育環境整備と設備・備品等の充実<br>・事務職員と連携した予算の適正で計画的な執行管理  |
| 福井力の                  | 「ふるさと福井」の教育   | 「ふるさと福井」への理解<br>・福井の教育をよりよくしていく心と態度  | 福井の教育の充実に向けて、「ふるさと福井」を学び続ける態度と自己啓発力(「ふくい愛」)の向上<br>・「ふるさと福井」独自の教材づくりと活用した授業の実践(「ふるさと福井の先人 100人」「古典音読・暗唱ノート」「郷土新聞」「NIE教育」など)   |   |   |                          |  |  |                         |  | 素養 |       |                | 家庭や地域社会との連携                                       | 学校の実態に応じた計画的な教育環境整備と設備・備品等の充実<br>・事務職員と連携した予算の適正で計画的な執行管理            |  |